
娯説『ワールドイズマイン-人間が大好きなこわれた妖怪の唄』

日野 愛歌

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

娼説『ワールドイズマイン - 人間が大好きなこわれた妖怪の唄』

【Nコード】

N7166F

【作者名】

日野 愛歌

【あらすじ】

この物語はミクシーをはじめたばかりの19才の女の子が、ちょっとした擦れ違いでとんでもない事態に巻き込まれてしまうという愛と欲望渦巻くサイコストーリーです。世界でいちばんお姫様になりたかった女の子。人間が大好きなこわれた妖怪。一人と一匹が織り成す満月の饗宴と、そこにちよこんと添えられた衝撃のエンディング。『愛歌流世界式幸福獲取論』の脳髓、とくとご賞味あれ。「
とんと、この世にゃあ酔狂な奴らが集まってやがる」

(前書き)

みんな死ねばいいのに……

前編BGM『ワールドイズマイン』

<http://www.nicovideo.jp/watch/sm5473120>

「とんと、この世にゃあ酔狂な奴らが集まってやがる」

ミクシーは心理ゲームなんです。
心当たりがありません。

|| ||

「ただいまー」

ひっそりとした空間に私の歌声が響きわたる。返事はない。当たり前だ。

私の名前は みずみいろ 水見色 さき 咲
19才の女の子、職業は 華の女子大生。

今は親元を離れ、都内のマンションに一人暮らしをしている。

つまるところ、ここは私の部屋というわけだ。

今まで私を育ててくれた、お父さんお母さんには本当に感謝している。

初任給で、お父さんにはネクタイを。お母さんには銀の髪飾りを買ってあげるのだ。

私の将来の夢は、小学校の先生になること。未来を担うこともたちのために世界を切り開く道しるべをつくってあげたいのだ。

今は大学で必死に勉強ちう。理数系は苦手だ…orz

つらいこと哀しいこといっぱいあるけれど、友人に恵まれた充実した毎日。すごく楽しい。

でも何かが足りない。私はお姫様になりたかった。

平凡な日本の女子大生ではない別の自分を体験してみたかった。

アニメや少女漫画の主人公のような、燃えるような恋。

私だけの白馬の王子さま。豪華なハッピーウエディング。

そんな世界が視てみたかった。

ま。結局はなにものねだりなのだろうけど……

|| || ||

お母さんといっしょに選んだマンションの一室。4LDK。私だけ

の永久立体。

部活から帰ってきて、くたくたな私はシャワーを浴びて、汗を流す。
うんっ心も体もぼっかばか。

テレビで、最近ハマっているバラエティ番組にダイヤルを合わせる。
ふかふかのソファに座り、ゆっくりと疲れを癒すお姫さま。

「ふー極楽ごくらく」 至福の時間。マイスイートタイム。
ふと時計を見上げる。時刻は午後9時。ん、もうこんな時間か。さてっと、日記更新しちやおっかな。

ミクシーを最近はじめたのだ。この中では理想の自分になれる。誰も
もがヒロインになれるのだ。

なりたい私。現実の私。 ああ、本当のお姫さまになりたい。白馬
の王子さま、現れないかな？

ん？メッセが入ってる・・・？誰だろ。 知らない人？

☞ 2008年7月16日 09時48分 月野 哀歌

はじめまして 素敵なトップ絵に思わず惚れてしまいました

私はないイラスト描きです
もしよろしければ、マイミクお願いできませんか？

ご迷惑でしたら、スルーしていただいて構いません。よろしくです
っ
』

それが私と彼の運命の出会いだった

すっごい長くなるので中略 あらすじ公開だよっ

ミクシーで知り合った彼女と彼の中は急速に深まります。
彼女は「あなたが好きだ」と彼に嘘をついたのです。
彼は「君が好きだ」と彼女に心からの真実を伝えました。

しかし、彼女は彼を愛してはいませんでした。
自分だけに優しくしてくれる 王子さま。いや、お姫様は自分に絶
対服従の召使いが欲しかっただけなのです。

しかし、彼は彼女を愛してしまいました。

自分だけが護ってあげられる かawaiiお姫さま。
お姫様に心奪われた王子さまは白馬にまたがり、世界を爆走し続
けます。

お姫さまは彼が怖くなって、マイミクを切りました。

王子さまは「なぜ切ったのか」と、問いました。

彼女は、さらに怖くなって、彼をアクセス禁止にしました。彼は絶望しました。

そして、怒りと哀しみの中であるひとつの狂気が産声をあげたのです。

「さて、どうなることやら」

|| || ||

卓越した話術と変わり身の早さ。彼は異常だ。狂っている。解かっていた。そんなこととつくに。

だけど、心のどこかで彼が人間だと信じていた。人間が大好きなこわれた妖怪の唄。

「ごめんなさい。あなたの歌声は私の心臓には響きませんでした。」

ジヌスさんにはその後、私から謝罪のメッセージを入れた。
ジヌスさんは「気にしてないですよ」とひとことだけ言ってくれた。
だけど、どうだろう……。

私にはもう嘘と本当の区別がつかない。

ネットは怖い。いや、本当に怖いのは人間か。

彼の日記をおそるおそる開く。パンドラの箱。シュレディンガーの
猫。

箱の中身を見るまでは、猫が死んでるのが生きてるのが解からない。

怖い……ただ。私の心臓がどくんどくと暴れる。警告のシグナ
ル。

「助けて……お母さん」

おそるおそるクリックする。

【月野 哀歌の日記】

＝
＝
＝

ようやく全て終わりました。今日から再スタートです。

《水色ちゃんへ》『父にありがとう。母にさようなら。すべて

の子供たちにおめでとう。』

2008年11月13日21:09

みなさんこんばんは。哀歌です。

今日は新規マイミク様の とふたんにイラストを描きました

エヴァのシンジさんとカヲルくん。 次の同人誌ではエヴァが描きたいな・・・

喜んでいただければ幸いです。

それとこれからは 【誰かのために描いた】 とかそういう言い回しをするのはやめようと想います。

これは俺が描きたいから 描いたイラスト。

結局はぜんぶ自分のため：自己満足の産物なんです。でも、その自己満足で『誰かを幸せに出来たら』と考えています。

今回の件で俺の身勝手さがよく解かりました。

しばらくは誰かに恋をすることも、バトることもしたくありません。傷つけるのも、傷つけられるのもこりこりです。

俺はみんなが想ってるほど強い人間じゃないんですよ。ほんとは自分が怖くてたまらないんです。

みんなと楽しく笑っていたいんです。

善にも悪にも馴染めない君へ

おおつぶの涙が、きれいな虹に変わりました。

今まで幸せをありがとう・・・元気でね。大好き。

BGM：残酷な天使のテーゼ／高橋洋子

<http://www.nicovideo.jp/watch/sm5178388>

（今回は少し趣向を凝らして最終回で使われたアレンジVerです。
やべえ・・・泣きそう。）

『父にありがとう。母にさようなら。すべての子供たちにおめでとう』 「少し…つかれた」

＝
＝
＝

勝手なことをほざくな……

私が、私の世界が、あなたのせいだけでただ崩れてしまったか。

本当に解からないの？

「あなたは……悪魔です。」

そう呟いた私の歌声は自分のものとは思えないほど、凍えるように冷たく透き通っていた。

その後も彼からの精神攻撃は続いた。

狡猾。彼を一言で表すとしたらこの二文字だろう。

本当にギリギリの境界線を狙ってくる。怖い。

でも……どこかで誰かが決着をつけなくちゃいけない。

そうだ。私だ。私が蒔いた種。

もう全て終わりにしよう。

そうだ。はじめからこうしていれば良かったんだ。

何を迷っていたんだ、水見色。咲。私の世界。はここだけじゃない。

次の瞬間、私はミクシーの退会手続きを済ませていた。

【アンインストール】

「ばいばい、童貞くん」悪魔はすでに私の腔内おなかにいたようだ。

後半へーつづく キートン山田風に

いつもきれいにお読みいただきありがとうございます。

後編BGM『人間が大好きなこわれた妖怪の唄』

<http://www.nicovideo.jp/watch/sm4035902>

「世界でいちばんお姫様」

「目を開けて見る・・・嬢ちゃん。これがお前が望んだ世界だよ。」

|| || ||

【過剰投影型依存に於ける袋小路のモデル】

ケーススタディ
症例番号 13 彼の場合

彼女が消えた。

どこだ？どこにいる？見つからない・・・さきちゃん。僕だけのお姫さま。

僕は、駄目なんだ。君がいないと・・・僕は。

生きたい生きたい生きたい、シニタクナイシニタクナイシニタクナイ。イ。

見つからない見つからない見つからない。

そうだ。直接会いにいけばいいんじゃないか。
なんでそんな簡単なことに気がつかなかったんだ。

「天才か、僕は」大きくため息をつく。

グーグル検索で、今まで得た彼女の情報をもとに 彼女の通う大学を特定。たしか都内の女子大だったな……

「豚も死ね 狼も死ね 蝶も死ね みんな死ね死ねみんな死ね」

僕は高らかに聖歌を歌い上げる。

【監禁調教】 【催淫術】 【触手プレイ】 陵辱。 陵辱。 陵辱。

昔やったエロゲーの内容を夢想しながら、僕は股間を硬直させる。ビクビクと僕の息子がはげしく脈を打つ。

「ふうっ ふうっ……ふうっ ひっっふっひ あひっ」

3時間後

ラテンのリズムを刻みながら世界を闊歩する王子さまは、お姫さまのお城へとたどり着く。

やっぱりだ。間違いない。ここが僕と彼女の愛の巢。

「着いた！着いたよ！！さきちゅわああああん

「きゃーシンヤさんすてきー 愛してるわー。（彼女の声色）」

「僕と！君だけの！めくるめく官能の世界が今、幕を開けるんだおっ

まっ、さきちゃんの処女膜を開けるのは僕だけどねえっ なんちゃっ
ってー」

今日も神のギャグは冴え渡る。ふふふ崇めよ！愚民ども！僕は新世界の神になる男だぞっ

「まっ、アダムとイヴはもう決定してるから、他は要らないけどね。

」

鍵。開いている。「むう、無用心だなあ。さきちゃんは」
変質者が侵入してきたらどうするんだ。

ま、そのときは僕が護ってあげるけどね！なんたって僕はさきちゃんナイトの騎士さまなんだから

扉を開ける。「ううん、フローラルな香り。ビューティフォー！」

廊下をずんずん突き進む。「線路は続くよ！どこまでも！」

死体を見つけた。

「ほえ？」

死体。腐敗していない首吊り死体。まだ新しい。
だれだろう？こんなところで。迷惑な。

「君はだあれ？僕はだあれ？ 僕？僕は星の王子さまだよ。おひめ
さまを捜しにきたんだ。」

「はやく助けないと、クツパ大王に食べられちゃうんだよああああ
お。

ねえねえ、ちよいとそこの首吊り死体さん！僕のお姫様がどこにい
ったか教えてくださいなっ」

スキップしながら、ピヨンと首吊り死体の顔を覗き見る。「やつほ
ー？」

ぎひいヴいっ」「悪魔が哀しみをブリブリと嘔吐する。

僕は……君さえ側にいてくれれば何もいらなかった。君だけが、僕の世界の全てだった。

壊してしまったんだ。僕が世界を。君のハートを。「…ああ」

こんな……こんな結末エンディングを僕は望んじやいなかった。嫌だ。戻りたい。

セーブポイントはどこだ？このゲームはオートセーブなのか？選択肢をどこで間違えた？リセットボタンは？ケープルは？コンセメントは？

はやく……はやくしないと。戻れなくなる。早く早く早く！

戻りたい。戻りたい。あの頃へ。君と僕が二人で笑えたあの頃へ。

「ひ　ア　あああ！！ほおおおア　おおおあああああああ
あひああ嗚呼！！！！」　ホワイトアウト。

終わる世界。死に至る病。世界の中心でアイを叫んだケモノ。

「こんな想いをするくらいなら、僕は。僕は」

「まあ、いいや。首だけ持って帰る。」僕は持ってきたチェーンソーで、彼女を二つに分けた。パツクンチヨ。

|| || ||

えんでいんぐ【君と僕の壊れた世界】 - 実物提示教育編 -

拝啓

狂った世界へくく妄想代理人。 2008年12月02日21:2

5

さきちゃんただいま。いい子にしてたかい？

そんなに怖がらなくてもいいよ？ ここは今日から僕と君だけの部屋なんだから。

誰も邪魔者は入らないんだ。だから安心して。

ん？おなかすいたの？ さきちゃんは食いしん坊さんだね。

今、ごはんをつくってあげるからね？

さきちゃんはフランスパンより食パンが好きだったよね。

あはは そんなに慌てて食べなくてもいいよ？

時間はたっぷりあるんだからさ。

そつだ！明日は、さきちゃんの好きな演劇を見に行こう。

シェイクスピアは好きかい？

明後日は動物園にいっしょに行こう。白クマが見たいんだ、僕は。

明々後日はいよいよデイズニerlandだね。さきちゃんとの初デート、楽しみだなあ。

ずっとデイズニerlandに行きたかったんだあ、僕は。

小学校のときは修学旅行いけなかったからね。

あのときは辛かったなあ・・・摂食障害で入院しててね。地獄だったよ・・・あそこは。

でも、今はさきちゃんといっしょにいられて本当に幸せだよ？

ん、そうか、君もうれしいんだね。ダメだよ、そんなに激しくしち

や。

あ、そういえば成人式に着ていく振袖はもう決まった？

僕はさきちゃんには赤が似合うと思うんだ。

僕が君にいちばん似合う服をコーディネートしてあげるね

あつ、さきちゃんは首しかないじゃないかw 僕、間違えちゃった！

あはは、ごめんごめん そんなに怒らないですよ。

こどもは2人ほしいなあ。

女の子がひとり。男の子がひとり。 女の子の名前は「ひな」 男の子は「りく」

ひなには、ピアノを習わせよう。アートや演劇もいいね。

きつと、さきちゃんとぼくの娘だから芸術系は伸びると思うんだあ。

将来が楽しみだね。

男の子には野球をやらせたいなあ。僕、中学のときは万年補欠どまりだったからね。りくには、がんばってほしいんだ。

ボーイスカウトもやらせよう！僕のココロの脆弱さを引き継いでほしくないんだ。

これからが楽しみだね。ここにはもう痛みも苦しみも存在しないん

だ。

そうだ・・・はじめからこうしていれば良かったんだ。

これが僕の求めていた世界。最高のハッピーエンド。

「變じてるよ・・・ちきさちゃん。いねからはずいぶんよくなったよ」
「しよだよ?」

＝
＝
＝

えびろーぐ【世界にひとつだけの花】

ある古びたアパートの一室。

そこには、最愛の恋人を失った青年が独りで、ひっそりと暮らしているという。

そこに、嘘も真実も幻想もない。あるのは、ただ醜く太った欲望と儂く散った淡い恋心だけ。

楽しげに、割れた鏡と談笑する彼。

華麗なる食卓の上のピンクの花柄の植木鉢。

そこにドライアイスと共に、きれいに植えられた彼女の首。

その瞳は絶対零度の死線のまま、人間がだいすきな壊れた妖怪を視つめ、ただそこに凜と咲いている。

世界にひとつだけの花は、静かにくちびるを震わせる。

花は、世界に祈りを捧げながら彼に聴こえるか聴こえないかのギリギリの歌を囁^{ささや}める。

「勝手にしやがれ」

そして誰もいなくなった

WORLD
END

敬具。

(後書き)

笑えばいいと思ひます。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7166f/>

娯説『ワールドイズマイン-人間が大好きなこわれた妖怪の唄』

2010年11月3日13時56分発行